

木内酒造 母屋のしつらえ

空間について



木内酒造「母屋」の建物は昭和初期に建てられた商家建築によるもので、普請道楽であった当時の主の趣味もあり、多種多様な木を飾りに用いるなど随所に趣を感じられる空間となっています。その後何度か改築が繰り返されてきましたが、この度のレストラン「母屋」のオープンに合わせて、建築当時からの建具や欄間、天井などに洗いをかけ、元の建物の良さを引き出すかたちで改装を行いました。また新たに制作した造作や家具についても、木内酒造の敷地内で伐採された樹木を活用するなど、地元の材を活かした空間となっています。

2つの「飲中八仙歌」



母屋1Fの襖には、中国の詩人・杜甫が唐の時代の名だたる酒客8人をユーモラスに描いた「飲中八仙歌」が揮毫されています。この書は木内家と縁戚関係にあった幕末の思想家・藤田東湖によるものでしたが、のちに火災で消失し、その後、東湖の甥・丹誠によって復刻されました。

そしてもうひとつ、レストラン母屋の開業にあわせて新たに制作されたのが、美術家・遠山由美による「飲中八仙歌」です。遠山氏が作品の中で取り上げた詩人李白と書家張旭の節では、「李白一斗詩百編」で知られるように、酒が創造的な仕事を生み出す様が歌われています。

《作者のコメント》

作品化にあたって、詩人の李白と書家張旭を抜粋し、横書きの両面文字で、東洋と西洋の融合を試みています。唐漢詩のもつ「声」の表現に腐心し、とくにリズムと音韻を意識してかきました。母屋の入口で、代々の木内酒造からのおもてなしの「声」となって、来店した方々の心に静かに響けば幸いです。

母屋にはこのほかにも木村武山や下村観山など茨城ゆかりの作家の書画、水戸藩主であった黄門さまより御拝した扇などが設えられています。

つくりて

器

笠間焼をはじめ、地元作家の作品を中心に取り揃えています。

Keicondo / 清水正章 / 砂山ちひろ / 大黒屋 / 竹俣勇亮 /
ハタノワタル / 町田幸

空間

インテリアデザイン | Jamo associates

建築・内装工事 | 小葉建設 菅内稔

家具・照明 | 八木沢木工 Time & Style 飛松灯器 飛驒産業

企画・コーディネート

文化星人

